

第3回 嘉麻市学校施設整備審議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成30年度 第3回嘉麻市学校施設整備審議会
 2. 開催日時 平成30年8月24日(金) 19:00~19:55
 3. 開催場所 嘉麻市役所 嘉穂庁舎2階 第1会議室
 4. 公開又は非公開の別 公開
 5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
 6. 出席者
 - (1) 委員
会 長 安永卓生
委 員 鬼塚美穂、芳野拓、村上曙生、飯田千鶴美、末吉進一、日高寛司、福永貴義
- *欠席委員4名 副会長 永富靖人、野上真吾、田中豊和、藤井隆昭
- (2) 執行機関
学校教育課長 柴田きよみ、学校教育課参事 大森雅明、学校教育課長補佐 赤坂晋
教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 中島貴祐、教育企画係 山口陽子
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び審議の内容

【議題】

- (1) 嘉麻市学校施設整備基本方針(案)について
- (2) その他

【審議の内容】

- (1) 嘉麻市学校施設整備基本方針(案)について

嘉麻市小中一体型校施設整備基本方針(案)「修正1 平成30年8月24日」について、審議を行い、次のような質問や意見が出た。(委員)

○障がい者等にも配慮した駐車場にしてほしい。

○避難所として使用する際の機能性のところで「長期使用」とあるが、災害は緊急に起こるもので、長期に至るかはその災害規模によって異なるもの。文言を変えた方が良いのでは。

○運動場の200mトラックは、中学生になると狭いのでは。

→一般的に中学生の200mトラックは、体育会や体育の授業では十分である。本来は1レーン幅が1m20cm必要だが、実情は1m幅しか取れない施設が多い。1m幅で8コース取れば、中学校では十分だと考える。(事務局)

○小・中学校が相互に刺激し合える教室配置とは、具体的にどういう配置なのか。

→まだ建て方が決まっていないため、配置も決まっていないが、小学校5・6年生が中学生の動きを見て中学生になることがイメージできるような、小中学校がまったくの別校舎ではなく、お互いが感じられるような配置で組んでいければと考えている。(事務局)

○高度情報化社会に対応できる施設とは。

→今は子どもたちが身近にインターネット等に触れられる環境にある。これからの教育として、パソコンやタブレット等で子どもたちが自ら情報を得て、活用していけることが重要になってくる。身近に触れられる情報機器を使い社会に対応できる施設としたいと考える。(事務局)

○ICT教育の指導方法はどのようになるのか。

→文部科学省がICT支援教育に向けて国の指針を定めている。例えば、タブレットについては1学校で3クラス程度の用意が必要であるとか、指導者の人材派遣等の指針を出している。本市としては、今後指針を考慮しながら進めていきたい。(事務局)

○キャリア教育とは。

→教育用語でのキャリア教育は、進路学習や就職だけでなく人生を様々なステージに分けて、長い人生の先を見据えながら自分の人生設計を考えていく教育と捉えて指導している。嘉麻市の様々な企業やふるさとの良いところを見ながら自分の人生でこんな仕事に就いてみたい、こんな夢を叶えたい等の教育ができる施設にしたい。(事務局)

○見た目よりも、利便的なつくり配慮してほしい。

○トイレ問題について、個室トイレへの入りづらさによる体調不良やいじめはあるのか。

また、今は和式トイレの使い方を知らない子もいるため、和式トイレは時代に合っていないように感じる。

→トイレを我慢して体調が悪くなった子どもや冷やかしの悪戯は実際にあった。学校の指導面での対応が必要なところ。施設面では、改修工事で出来るだけ洋式化は行っているが、今後校舎を改築していくにあたっては、洋式トイレで改築をしていきたい。(事務局)

(2) その他

9. 配布資料

(1) レジューメ

(2) 嘉麻市小中一体型校施設整備基本方針(案) 「修正1 平成30年8月24日」